

滋賀県大津市の死亡野鳥から検出されたウイルスは、 高病原性鳥インフルエンザウイルスであると確定!!

1月23日に滋賀県大津市で回収された死亡野鳥（ハシボソガラス）から検出されたA型鳥インフルエンザウイルスは、本日、高病原性鳥インフルエンザウイルスであると確定しました。

現在、国内の家きん農場では25道県71事例で高病原性鳥インフルエンザが発生し、約1,249万羽が処分されています。

防鳥ネットや鶏舎周囲の消毒等、防疫対策の徹底をお願いします。

滋賀県での高病原性鳥インフルエンザ発生状況

<家きん>

1月19日【61例目】大津市 採卵鶏農場（約4,000羽飼養）

1月26日【66例目】大津市 エミュー農場（6羽飼養）

<野鳥>

1月23日 大津市で死亡したハシボソガラス1羽を回収。
同日の簡易検査陰性。

1月30日 国立環境研究所の遺伝子検査により、A型鳥インフルエンザウイルスを検出。

2月1日 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）であると確定。

<対応>

- 回収地点周辺10km圏内を野鳥重点監視区域に指定し監視強化（一部、京都市を含む）

厳戒態勢で発生予防対策を徹底して下さい!

- 消毒の徹底（衛生管理区域外周及び鶏舎周辺、鶏舎に立ち入る際の手指や長靴、車両）
- 野生動物の侵入防止対策の徹底（防鳥ネットやカーテンの設置・破損の点検や修繕）
- 専用の衣服と長靴設置（衛生管理区域内・鶏舎ごと）

京都府中丹家畜保健衛生所 ※異状が見られたら、すぐに連絡して下さい。

TEL 0773-25-1860（休日・夜間は転送されます） FAX 0773-25-1861